子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第104回　「訪問のエチケット」

こころの相談員　小林　節子

夏休み期間は子どもの活動範囲も広がり、親の知らないうちに友だちの家を訪問していることがあるのではないでしょうか。その件でよくある相談に「子どもの友だちが家に来たときに、勝手に冷蔵庫を開けたり、お菓子を食べたりする」中には「庭に取り付けてある玩具を壊して逃げていった」などということも。この場合、その子の親に言うべきかどうか、を迷う方が多いようです。普段から気軽に声を掛け合うような関係ならいいのですが、必ずしもそうでない場合もありますよね。相手の反応が予想できず、不安に駆られるのでしょう。

基本的には、よその子であっても、行儀の悪いことをしたり、遊びの中で攻撃的な行動を見つけたら、その場で叱ってくださいとお願いします。もちろん、小学校の高学年で遊びの中でトラブルがあったときなどは、子どもたち自身で解決できることが理想ですから、その場にいた大人はアドバイスをするだけにとどめておいたほうがよい場合もあります。（いじめの現場を目撃した場合は別です）ただ、勝手に冷蔵庫を開けたりしたときは、きっぱり制止してください。そして、わが子もよそのお宅で迷惑をかけていないかかどうかを考えてください。子どもに友だちの家を訪問するときの基本的なマナーは教えておきましょう。また、誰の家に行ってきたかは子どもに報告させましょう。スーパーなどでそこの親と会ったときに、お礼の声かけが出来るかもしれません。

※小林相談員は、あさひ園・カンガルーあさひなどで相談活動を行っています。

7月活動報告

日の本（ひのもと）クラブ　7/7　七夕祭り

今年の４月に開所したばかりの学童保育所日の本クラブです。現在19名の子どもたちが放課後を元気に過ごしています。

七夕にちなんでみんなで笹の葉飾りを作りました。みんなの願いが叶うといいね。